

横須賀海軍施設

●所在地

横須賀市本町、稲岡町、楠ヶ浦町、泊町、長井

●接收年月日 昭和20(1945)年9月2日

●従業員数 4,998人

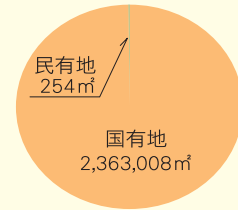
●現況

旧日本海軍横須賀海軍工廠、鎮守府等を米軍が接收した。本施設内には在日米海軍司令部をはじめ、横須賀基地司令部、海軍艦船修理廠、海軍施設技術部隊、海軍補給センター、海軍通信隊、海軍病院、西太平洋艦隊訓練群、第7潜水艦群司令部、海軍海洋業務群などが所在し、在日米海軍、米第7艦隊等の補給、修理、休養等のための支援基地となっている。

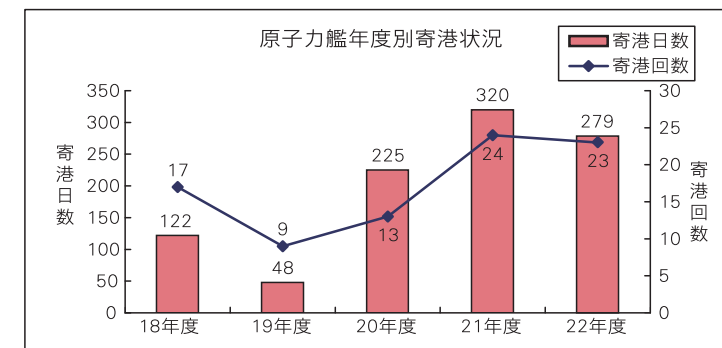
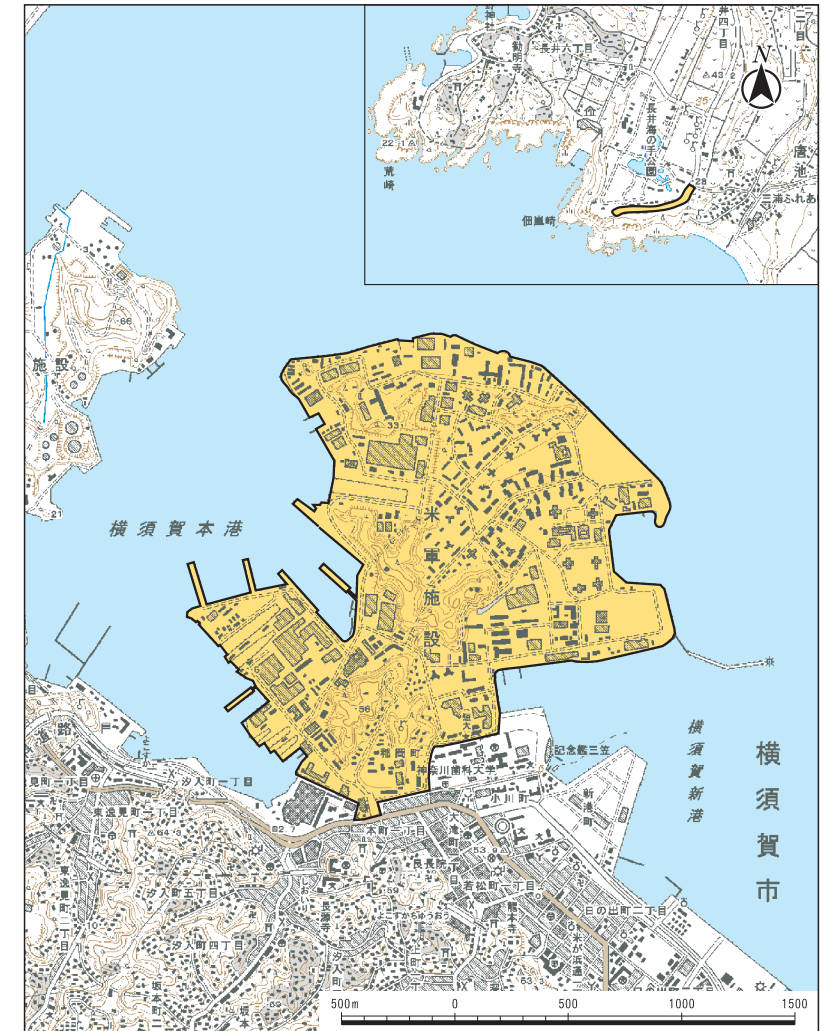
米第7艦隊旗艦の揚陸指揮艦ブルーリッジ、原子力空母ジョージ・ワシントンなどのいわゆる母港となっている。

なお、原子力空母ジョージ・ワシントンは、平成20年9月25日に横須賀へ初入港した。

●土地 2,363,263㎡



●水域 約8,200,000㎡



※平成22年度の数値は平成23年2月末現在